

2026年2月4日

タイガーエア台湾、A321neo を 4 機発注

エアバス（本社：仏トゥールーズ、最高経営責任者：ギヨム・フォーリ）は4日（シンガポール時間）、タイガーエア台湾が A321neo を 4 機発注したことを発表しました。タイガーエア台湾が A321neo を発注するのは今回が初めてとなります。同機の導入により、タイガーエア台湾は路線ネットワークの拡大を推進し、従来機と比較して燃費効率の向上と排出ガスの削減を実現します。

タイガーエア台湾は現在、A320 ファミリーを 17 機（A320ceo が 9 機、A320neo が 8 機）を運航しており、A320 ファミリーの高い共通性によって、訓練、整備、運航コストの削減を図ります。

タイガーエア台湾の黄世恵董事長は次のように述べています。「A321neo の発注は、当社の『第 3 世代』機材拡大計画の要であり、リージョナル市場での競争力をさらに強化し、運航効率を最大化することを目指したものです。232 席仕様の A321neo を導入することで、需要の高い『ゴールデンルート』の供給能力を強化し、ネットワーク拡大を加速させます。より多くの目的地へ、より多くのお客様を低コストで運ぶことで、台湾をリードする LCC としての地位をより強固なものにします。さらに、商業的目標と ESG 目標の両方の達成を実現する機材の若返りと低燃費化を押し進めることができます」

また、エアバスのブノワ・ド・サン＝テグジュペリ民間航空機事業営業担当上席副社長は次のように述べています。「タイガーエア台湾が機材拡充の新たなステップとして、エアバスへの信頼を示してくださったことを大変嬉しく思います。A321neo の導入によって既存の A320 機材を補完します。A321neo は、コスト効率の高い運航を維持しつつ、増大する需要を取り込むための理想的な航空機となります」

A321neo はベストセラー機である A320neo ファミリーの最大機種で、同クラスをリードする運航経済性と航続距離を兼ね備え、短・中距離路線においてより柔軟な運航が可能となります。従来機と比較して、燃費および CO₂ 排出量を少なくとも 20%削減します。

A320neo ファミリーは、これまでに世界中の 130 社以上から 1 万機を超える受注を獲得しています。また、すべてのエアバス機と同様に、持続可能な航空燃料（SAF）を最大 50%使用して飛行することができます。エアバスは 2030 年までに全エアバスファミリー機で SAF を 100%使用した運航の実現を目指しています。

[Newsroom](#)**Follow us**

If you wish to update your preferences to Airbus Communications, media@airbus.com

If you no longer wish to receive communications from Airbus, media@airbus.com

リリースに関するお問い合わせ先：エアバス・ジャパン株式会社

藤宗宇多子

03-5775-0133

utako.fujiso@airbus.com

野坂孝博

03-5775-0129

takahiro.nosaka@airbus.com

Follow us



If you wish to update your preferences to Airbus Communications, media@airbus.com

If you no longer wish to receive communications from Airbus, media@airbus.com